

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設の研究用）

西暦 2021年 2月 12日作成 第3.0版

研究課題名	当科における全腹腔鏡下子宮全摘術の子宮回収方法に関する検討
研究の対象	2017年1月1日～2019年12月31日に当院でおこなった全腹腔鏡下子宮全摘術症例。
研究目的 ・方法	全腹腔鏡下子宮全摘術において、当院ではこれまで摘出子宮を経腔的に回収していたが、子宮の大きさや腔壁の進展度合い、患者の体格などにより腹腔内での子宮の分割を要する症例も認められました。しかし腹腔内での子宮の分割は、悪性腫瘍であった場合の転移や寄生筋腫の要因となり得ます。この問題の解決のために、我々は症例によって摘出子宮を経腹的に回収する試みを始めました。当院でおこなった全腹腔鏡下子宮全摘術の摘出子宮の回収方法によって、手術時間や出血量にどのような違いがあるか診療録をもとに後方視的に検討します。
研究期間	西暦 2019年 10月 1日 ～ 西暦 2021年 03月 31日
研究に用いる 試料・情報 の種類	<ol style="list-style-type: none"> 1) 患者基本情報：年齢、性別、診断名、身長、体重、既往歴 2) 治療内容 3) 病理学的所見 4) 有害事象
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 婦人科（研究責任者）古賀 絵理 電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-242-2275</p>	